

静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画 中間評価・中間見直し 市民意見応募手続(パブリックコメント)の結果概要

1 意見募集期間

令和5年11月24日(金)から令和5年12月25日(月)まで

2 周知方法

- (1)市ホームページへの掲載
- (2)市窓口での閲覧及び配布(各区の市政情報コーナー、健康づくり推進課)
- (3)静岡市静岡歯科医師会及び静岡市清水歯科医師会報に同封送付
- (4)静岡商工会議所、全国健康保険協会静岡支部、健康保険組合連合会静岡連合会、
障がい者歯科保健推進会議委員、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静岡市清水手をつなぐ育成会、
障害福祉サービス事業所、静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科、静岡市立静岡看護専門学校、
静岡社会健康医学大学院大学にメール等での周知

3 意見提出の状況

応募者数 172人 意見数 172件

提出方法(件)	
FAX	14
電子申請	50
持参	108
郵便	0
計	172

居住地(件)	
葵区	75
駿河区	30
清水区	56
その他	11
計	172

年代(件)	
19歳以下	10
20代	24
30代	26
40代	24
50代	40
60代	31
70歳以上	13
未記入	4
計	172

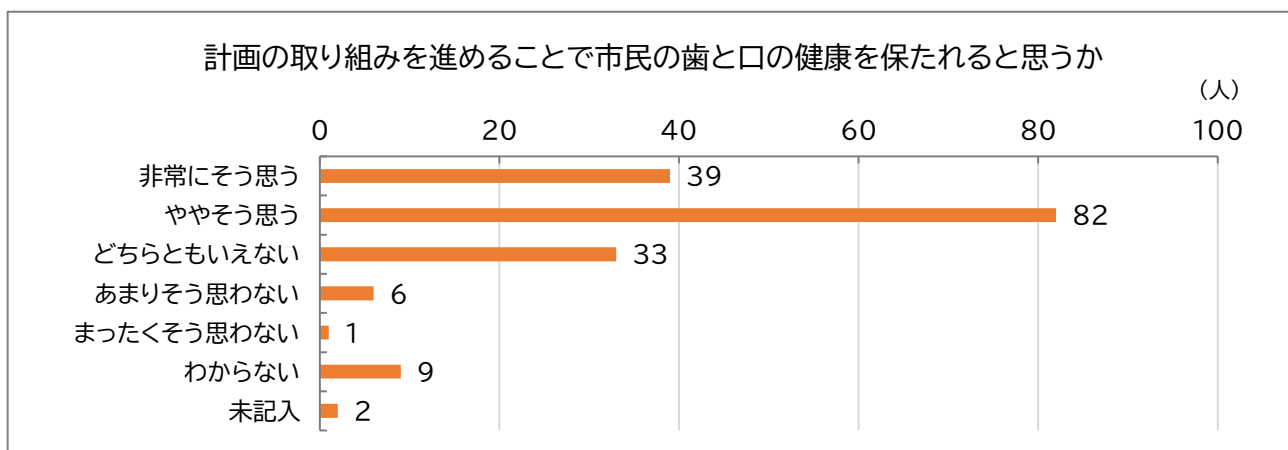
職業(件)	
歯科専門職	19
歯科専門職以外	141
未記入	12
計	172

→

職種(件)	
会社員	40
公務員	1
自営業	1
専業主婦(夫)	15
パート・アルバイト	28
学生	7
その他	42
未記入	7
計	141

4 意見の内容

問1 あなたは、静岡市の歯と口腔の健康づくり推進計画の取り組みを進めることで、市民の歯と口の健康が保たれると思いますか。(単一回答)



問2 問1で選択した理由をお書きください。

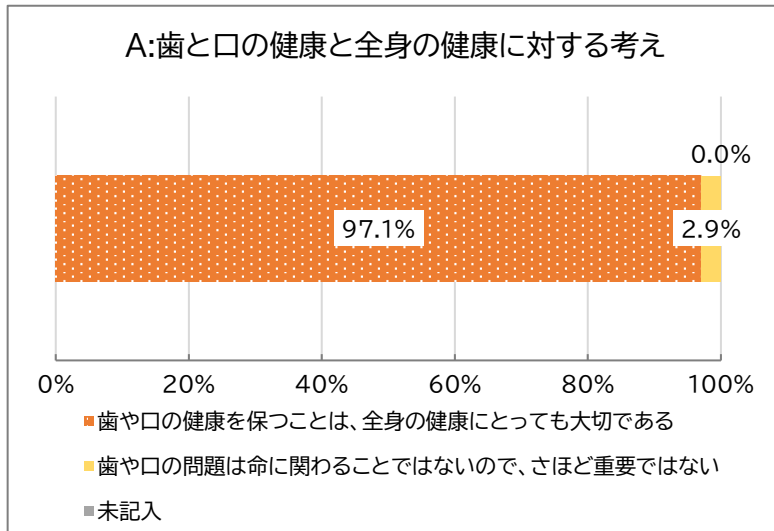
非常にそう思う	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数値目標を出して、それに基づいて推進していくことは非常に意義がある。 ・目にする機会又は聞く場所が多ければ個人の意識が高まる。 ・きちんとしたPDCAで計画が新しくなっているから。
ややそう思う	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方の目につく活動があれば効果があると思います。 ・取り組みを行うことで口腔内の健康を意識する人はいると思うが、興味のない人には響かないと思うから。 ・行政からの推進計画を広く伝えることで市民の多数が認知することが可能となるため、健康を考える機会が増えると思う。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みが伝わってこない。 ・この取り組みが浸透していると思えないからです。 ・たがいの問題に対する意識の高まりや、行政と市民の意志の共有をどう高めることができるのか、単に行政から問題を提案しても、市民とのギャップをどう埋めるのか、見えないから。
あまりそう思わない	<ul style="list-style-type: none"> ・「静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画～はつらつ スマイル プラン～」の存在を知らなかった。保険の範囲で、病気だけでなく、定期的な歯科受診ができることについて、広報が不足していると感じている。 ・推進計画の内容が広報されていない。 ・1人1人の気の持ちようだと思います。
まったくそう思わない	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画に参加する人が限られているから。
わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口腔の健康づくり推進計画自体を全く知らないので意見できないため。 ・どんなことをしているか良くわからないので。 ・市民の歯と口の健康がどうなのか分からないから。

【問1・問2 解説】

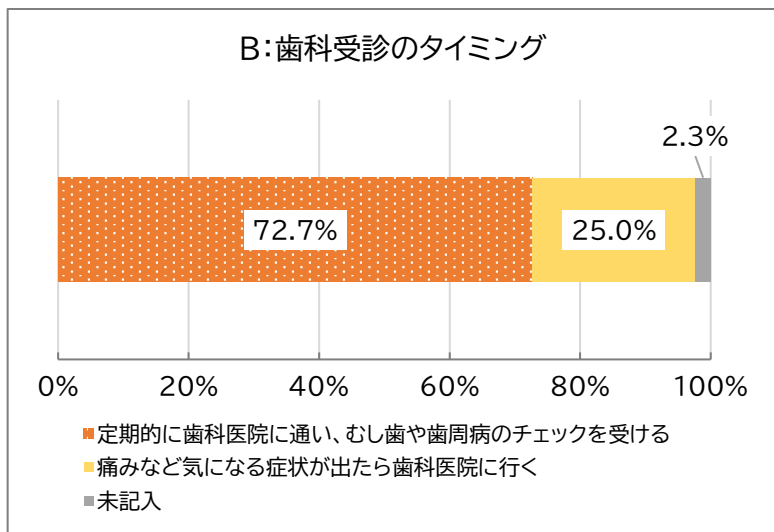
「ややそう思う」、「非常にそう思う」、「どちらともいえない」の順に回答が多くありました。

具体的な数値目標を出して推進していることやPDCAを行っていることが評価された一方で、「計画を策定していることを知らなかった」、「計画の内容の広報が不足している」との回答が多く見られ、取り組みの周知が課題にあがりました。

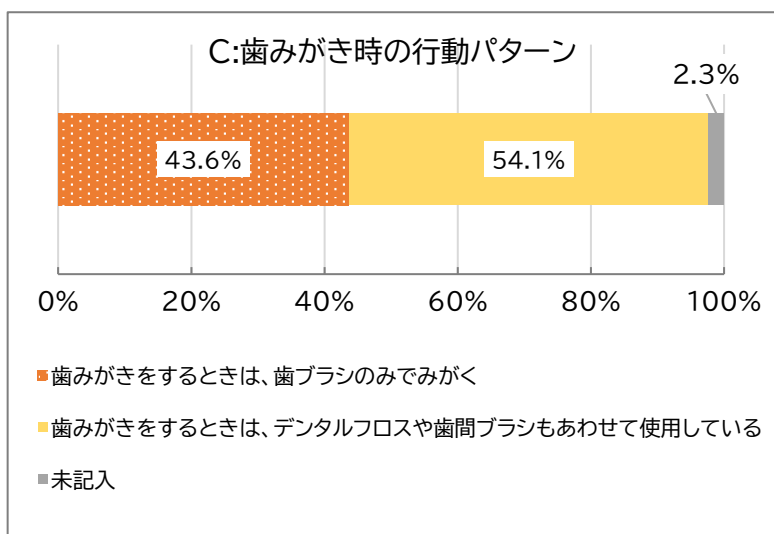
問3 あなたの歯や口の健康に対する考え方や行動パターンについてお尋ねします。次のA～Cの3項目について、どちらか近いものに✓をしてください。



【問3 A 解説】
歯や口の健康を保つことは、全身の健康にとっても大切であると考える方が97%と多く見られました。例えば、近年、歯周病と糖尿病や認知症などの疾患との関係性が明らかになってきていますので、引き続き周知啓発をしていきます。

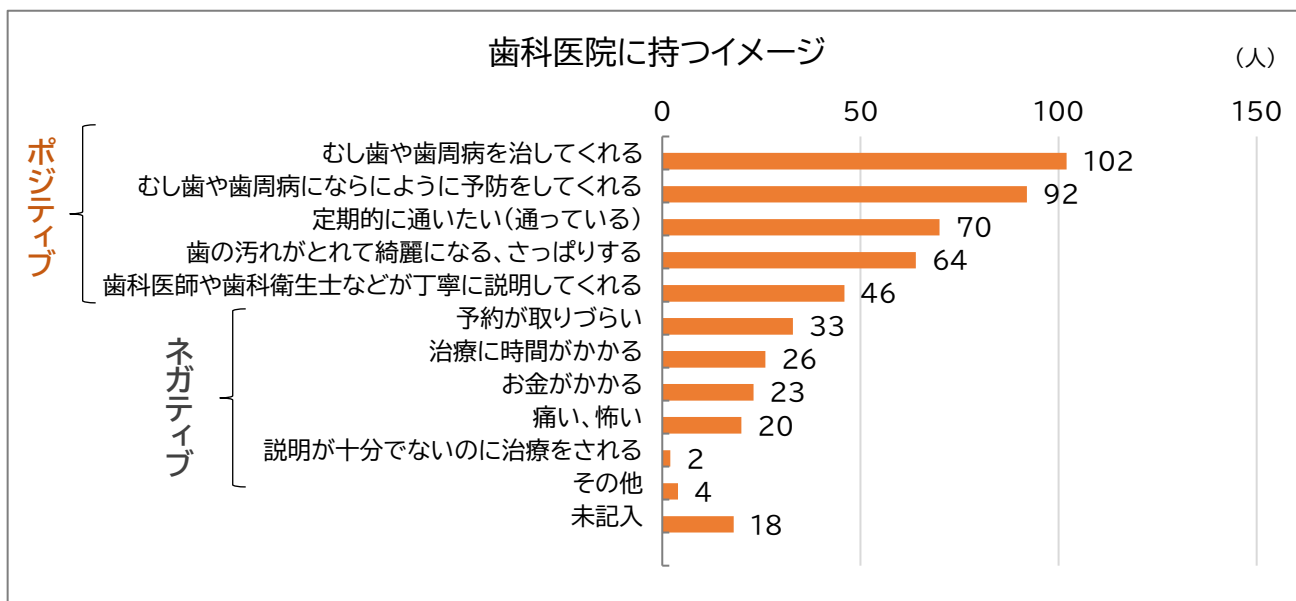


【問3 B 解説】
定期的に歯科健診を受けている方が7割を占めたものの、痛みなど気になる症状が出たら歯科医院に通う方も3割程度見られました。特に歯周病は症状に気が付かないうちに進行しますので、症状がなくても定期的に歯科を受診するよう働きかけが必要です。



【問3 C 解説】
 歯みがきをする際、歯ブラシのみでみがく方よりデンタルフロス等の歯と歯の間の清掃用具を使う方は若干多い結果となりました。歯ブラシのみでは汚れ全体の6割しかとれないことがわかっていますので、デンタルフロスや歯間ブラシの必要性を引き続き働きかけていきます。

問4 あなたは、歯科医院に対し、どんなイメージを持っていますか。あなたのイメージに近いものを3つまで✓をしてください。



年代	ポジティブ	ネガティブ
19歳以下	92.3%	7.7%
20代	80.0%	20.0%
30代	69.3%	30.7%
40代	74.3%	25.7%
50代	73.6%	26.4%
60代	83.7%	16.3%
70歳以上	87.9%	12.1%

【問4 解説】

歯科医院に対するイメージは、「むし歯や歯周病を治してくれる」「むし歯や歯周病にならないよう予防してくれる」「定期的に通いたい(通っている)」などのポジティブな回答が多く見られ、「予約が取りづらい」「治療に時間がかかる」「お金がかかる」などネガティブな回答を上回りました。年代別では、ポジティブなイメージを選んだ割合は19歳以下が1番高く92.3%、ネガティブなイメージを選んだ割合は30代が1番高く30.7%でした。

問5 その他のご意見があればお書きください。

▶ 21件のご意見をいただきました。

いただいたご意見と対応は、別紙「パブリックコメントのその他意見一覧(21件)」のとおりです。

5 意見の反映

A:計画に反映させる	2
B:計画に登載済	2
C:今後の取組の参考とする	4
D:その他要望、感想等	13
計	21

※問1～問4のみ回答の151件は除いています。